EU Indicators

欧州経済指標コメント：３月ユーロ圏消費者物価（確報）

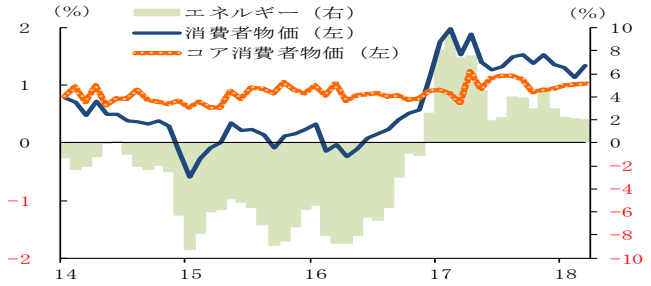
発表日：2018年4月18日（水）

～コア低迷の犯人は衣料品とパッケージ旅行～

第一生命経済研究所　経済調査部
主席エコノミスト　田中　理
03-5221-4527

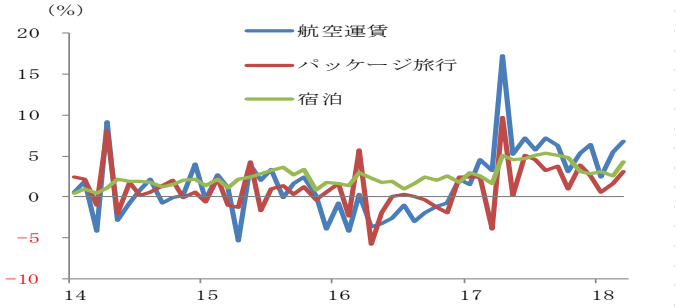
- ３月のユーロ圏の消費者物価の確報値は前年比＋1.3％と、速報段階の同＋1.4％から小幅下方修正。ただ、四捨五入前では、速報値：同＋1.37％→確報値：同＋1.34％と修正幅はそれほど大きくない。内訳は、コア物価（同＋1.0％）とエネルギー価格（同＋2.0％）が速報値から不変の一方、食料・アルコール飲料・たばこ価格（同＋2.2％→同＋2.1％）が下方修正された。
- コア物価は2015年初頭の同＋0.6～0.7％をボトムに緩やかに上昇率が持ち直し傾向にあるが、過去３ヶ月は同＋1.0％の横這い推移と一服。昨年３月の上昇率が前月に比べて下振れしたこともあり、今年の３月値は本来であれば高めに出やすかった。こうした“前年同月の裏”が３月計数に現れなかった背景としては、①セール時期の関係などで月毎の振れが大きい衣料・履物（前月：同＋0.5％→今月：同▲0.5％）の下振れ、②イースター休暇時期がずれたことで３月に上振れするとみられたパッケージ旅行（同＋1.6％→同＋3.1％）の上昇率が低調にとどまったことが影響。
- 新たに発表された国別のコア物価は、ドイツ（同＋1.3％→同＋1.2％）、スペイン（同＋1.3％→同＋1.2％）、オランダ（同＋0.8％→同＋0.6％）などが前月から上昇率が鈍化した一方で、フランス（同＋0.9％→同＋1.0％）、イタリア（同＋0.4％→同＋0.7％）が加速し、これを相殺した。
- 今月のコア物価の足取りが鈍かったのは振れが大きい項目の下振れが主因で、今後は徐々に上昇率を高めるとの見方を維持する。特に５月以降はエネルギー価格が全体計数を一段と押し上げるため、ヘッドラインの物価上昇率は２％近くに向けて加速する展開を予想する。

■ユーロ圏：消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所：Eurostat

■ユーロ圏：旅行関連の消費者物価（前年比）



出所：Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価（%）

		2017 2Q	3Q	4Q	2018 1Q	2017 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018 1月	2月	3月
消費者物価	（前期比）	0.1	0.2	0.4	0.5	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.0	0.1
	（前年比）	1.5	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.5	1.5	1.4	1.5	1.4	1.3	1.1	1.3
コア消費者物価	（前年比）	1.1	1.2	0.9	1.0	1.1	1.2	1.2	1.1	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0
食料/アルコール/たばこ	（前年比）	1.5	1.6	2.2	1.7	1.4	1.4	1.4	1.9	2.3	2.2	2.1	1.9	1.0	2.1
食料	（前年比）	1.3	1.4	2.2	1.2	1.2	1.1	1.2	1.8	2.4	2.2	1.9	1.7	0.6	1.5
アルコール	（前年比）	0.6	0.7	0.7	1.6	0.6	0.8	0.7	0.6	0.7	0.6	0.9	1.5	1.5	1.8
たばこ	（前年比）	3.2	3.2	3.7	4.7	3.1	3.2	3.3	3.2	3.3	3.7	4.0	4.0	3.8	6.3
エネルギー	（前年比）	4.6	3.4	3.5	2.1	1.9	2.2	4.0	3.9	3.0	4.7	2.9	2.2	2.1	2.0

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。